

2024年(令和6年)3月オホーツク管内倒産集計

令和6年4月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

年初から倒産発生続く 食品加工業の苦戦鮮明

発生件数2件、負債総額1億5,470万円

■前月比	件数	1件増加(2024年 2月	1件)
	負債総額	1,710万円減少("	1億7,180万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	同数(2023年 3月	2件)
	負債総額	7,470万円増加("	8,000万円)

2024年3月の発生状況

2024年3月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生2件、負債総額1億5,470万円。前月と比較し件数は1件増加、負債総額は減少。前年同月比では件数は同数、負債総額は増加となった。発生企業は網走市の水産加工業者と滝上町の小売業者(食品ストア)。水産加工業者はカニを主力とした加工を手がけ、ピーク時は1億7,600万円の年商を上げていたが、漁獲量減少やロシアからの輸入減少で仕入価格が高騰。収益面は低調に推移し、累積欠損を抱えるなど業容悪化を辿り3月1日に事業を停止。事後処理を弁護士に一任した。小売業者は滝上町内の老舗食品ストア。ピーク時の昭和57年には2億円を超える売上を計上していたが、過疎化に伴う人口減少が響いて近年はじり貧を辿り、令和5年6月期には4,300万円まで売上が減少。資金調達も限界に達し、昨年12月末で事業を停止。事後処理を弁護士に一任した。今年は年初から食品加工業者の倒産が続いており、今後の動向が懸念される状況だ。

2024年1～3月の発生推移

過去5年間の1～3月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は2.4件。同負債総額は2億5,020万円。

今年は前年、前々年と比較して件数・負債額ともに増加。過去5ヶ年の中でも20年に次ぐ水準となっており、倒産増加の兆候が顕著となっている。

過去5年間と今年1～3月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2019年	2件	1億4,100万円
2020年	4件	7億9,800万円
2021年	3件	1億6,200万円
2022年	0件	0円
2023年	3件	1億5,000万円
2024年	4件	3億7,792万円

今後の見通しと問題点

国内全体では、個人消費や観光産業などで活発な動きが見られる一方、依然として続くエネルギー・原材料価格の高止まりや深刻な人手不足、人件費高騰など企業活動におけるマイナス要素の根は深い。また、4月からは物流・運送業界における2024年問題も重くのしかかり、さらには日銀によるマイナス金利解除の影響が中小事業者にどのような影響を及ぼすのか、現時点では先行き不透明感が拭えない様相だ。

ここオホーツク管内では昨年夏場を起点に倒産企業増加の兆候が出始めている。今年も年初から3か月連続で食品加工業者が破綻するなど重苦しい雰囲気漂うスタートとなり、2024年問題の壁に悩む各業界においても今後の動向が懸念される。昨年5月のコロナ5類移行を機に経済活動や各種イベントも本格的に再開され、地域における景気回復への気運は大いに高まっているが、一部業界では未だコロナの後遺症で苦しむ事業者も見られている。4月以降もまだまだ予断は許さない見通しだ。

